



京都大学

設置期間 2019年4月～2020年3月

「アジア型ビジネスモデルの提案」



教員紹介



山田忠史 教授

専門分野
ロジスティクス、交通計画

Message
貨物輸送、サプライチェーンマネジメント、マルチモーダル交通、観光などを対象に、交通渋滞・交通事故・環境負荷などの社会問題を考慮しながら、実際の事例や計画、あるいは、理論的解析を通じて、交通サービスのあり方や交通ネットワークの設計について考究します。



小林潔司 特任教授

専門分野
計画・マネジメント論

Message
高コンテキスト社会であるアジア地域におけるビジネスには欧米ビジネスとは異なったガバナンスやコミュニケーション、交渉能力が必要とされます。アジアの代表的ビジネススクール、現地企業とのネットワークに基づいた講義、インターンシップを通じてアジアビジネスリーダーシップの在り方を実践的に学びましょう。



木村東一 客員教授

専門分野
企業経営、事業創出、人材育成

Message
共同研究講座に参加される皆さんは、将来のアジアビジネスリーダーです。毎年前半はアジア主要国の経済、文化、慣習およびビジネスの実際について学び研究します。協力・連携大学から概ね25名程度の著名な教授・講師を招聘し、皆さんとアジアビジネスについて議論します。後半は協力・連携大学の指導の下、アジア有力企業・機関にてフィールドリサーチ(インターンシップ)し、ビジネスの実際を体験・研究し自己鍛錬します。ビジネスで必須の英語コミュニケーション・ネゴシエーション能力も習得します。



Gautam Ray 特定教授

専門分野
Economic Growth and Development, Public Policy Analysis, Supply Chain Management

Message
Development dynamics and policy perspectives course teaches a conceptual framework capturing the mechanics of development dynamics of broader social system that includes economy, polity and culture and offers a platform for students to discuss development policy issues in both developed and emerging economies. Supply chain management course teaches how collaboration across supply chain partners including consumers can generate socially optimal business outcome.



AAhad M. Osman-Gani 特命教授

専門分野
Human Resource Development (HRD), International Management

Message
Best wishes to KU-GSM and KBRC for its initiatives taken on Global & Asian Business Leadership (ABL) programs as well as for GMA activities. I am happy to see the positive outcomes of the productive partnerships between IUM and KU-GSM. Let's continue our collaborative efforts in developing new knowledge and contributing to the advancement of professional practices in leadership and business management.



森 健夫 特命教授

専門分野
産官学連携

Message
様々な組織の立ち上げに関わってきました。この10年は地方自治体と民間・経済団体による官民連携組織の立ち上げと運営に携わっていますが、スポーツ振興、文化振興、インバウンド推進、産業イノベーションと狙いはそれぞれ異なっていますが、基本的課題は、財源、人事構成、ガバナンスそして具体的な事業計画と検討すべき項目はほぼ共通です。しかし参画メンバーによってその着地は全く異なっており、何回取組んでも飽きるどころがありません。実際の産官学連携事業を対象として、その課題と解決、進化を研究し、実務へのフィードバックを目指します。